

科目ナンバリング											
授業科目名 <英訳>	オーラルプレゼンテーション（全・英）-E3 Oral Presentation (All Faculties, English)-E3					担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 小山 哲春				
群	キャリア形成科目群			分野(分類)	国際コミュニケーション			使用言語	英語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	火2		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向		
【授業の概要・目的】											
<p>本授業では、AcademicなコンテキストにおけるSpeaking（Oral Presentation / Discussion / Debate等）の技能養成を中心課題に置き、この課題達成の手段として、Academic Reading、Speaking/Debate能力涵養のための演習を行う。Academic Readingの目的は「英語を読む」ことではなく、読み取った情報を整理、統合、理解した上で、これを他人に伝達したり、他人と議論したりする基盤とすることである」という前提に立ち、本授業は、こういった一連の作業を「全て英語を用いて実践する」訓練の場となる。Oral Presentation / Debate / Reading Materialについての講義 / ディスカッションを含め、授業運営は全て英語で行う。</p>											
【到達目標】											
<p>(1) Academic Reading Materialsを、「訳読」ではなく、「知識の取得、自らの議論の構築、他者への情報伝達」といった目的に応じて読みこなす力を身につける。</p> <p>(2) 英語で読み取った情報を、英語でPreset/Discuss/Dabateするための技能を身につける。</p>											
【授業計画と内容】											
<p>毎回の授業の構成</p> <p>1～2週間を1ユニットとして、それぞれ新しいReading Material / Audio-Visual Materialを導入し、授業中にこれを読み/視聴し、理解した内容について担当者、および授業参加者同士でディスカッションを行う、という形式をとる。ディスカッションの方法は受講人数に応じて変わりうるが、英語によるディスカッションまたはディベートをユニットの最終課題としたい。</p> <p>Session 1: Orientation / Introduction</p> <p>Sessions 2 & 3: TED Exercise 1 (including discussion)</p> <p>Sessions 4 & 5: TED Exercise 2 (including discussion)</p> <p>Sessions 5 & 6: Reading in Social Science 1 (including discussion)</p> <p>Sessions 7 & 8: Reading in Social Science 2 (including discussion)</p> <p>Sessions 9 & 10: Debate based on readings 1</p> <p>Sessions 10 & 11: Debate based on readings 2</p> <p>Sessions 12, 13, 14: Group Presentation</p> <p>Feedback</p> <p>学期を通じた課題（グループ課題）</p> <p>グループで決定する任意のトピックについてグループ構成員がそれぞれ必要な英語文献を検索して読み、これを統合して英語によるoral presentationを学期末に行う。トピック等については授業中に指示する。</p> <p><テキスト / 課題等></p> <p>テキストは指定せず、担当者がReading Materialを配布する。Reading Materialに加え、英語による講義等の音声 / 映像 Material(主にTED)を適宜導入する予定である。課題は上述の通りであり、原則と</p>											
オーラルプレゼンテーション(全・英)-E3(2)へ続く											

オーラルプレゼンテーション(全・英)-E3(2)

して毎回の授業に対して宿題を課す予定はない。

< 履修の心得など >

履修の時点でSpeakingやDebateの高い技術を要する必要はないが、Readingの演習を基盤としてそうしたコミュニケーションスキルを伸ばそうとする態度が求められる。

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

In-class Assignments (各授業での演習課題、Debate/Discussionへの貢献度、不定期の提出物等) (50%)

Oral Presentation (Group) (30%)

Final Paper(20%)

【教科書】

使用しない

【参考書等】

(参考書)

授業中に紹介する

【授業外学修(予習・復習)等】

授業中の演習が中心となるので、予習そのものは要求しない。ただし、授業中の演習課題を繰り返し復習し、求められているレベルに到達する不断の努力を要求する。

【その他(オフィスアワー等)】